

薺

コレハ薯蕷ノ類ニシテ蔓生ナリ、葉ハ薯蕷ヨリ圓大五寸許、秋時葉間ニ穗ヲナシ花ヲ開ク、山草
薺穗ニ似タリ、別ニ子ヲ生ズ、零餘子ヨリ大ニシテ圓扁一寸許、周邊ニイボアリ、褐色、秋後苗枯ル、
根ハ年ヲ經テ漸ク大ニナル、形圓扁ニシテ三四寸許、莖頭ニ似テ粗鬚多ク味苦シ、故ニ灰汁ヲ以
燻過シ、再煮食フ、色黄ニシテ栗ノ如シ、是藏器後説及恭ノ説ノ土芋ナリ、又藏器ノ前説ハ別物ナ
リ、俗名ホド、一名フド、州紀ツチクリ、江州シバグリ、同上一名香芋、食物本草土園兒、救荒本草地栗子、同上山中ニ生ズ、
藤蔓紫黑色、葉互生ス、形小豆葉ニ似テ五葉、夏月葉間ニ花ヲ生ズ、數萼穗ヲナス、長サ一寸餘、形豆
花ノ如ニシテ、淺黄微紫色、其根モ蔓ニシテ數塊ヲ連ヌ、形鷄卵ノ如ク黄赤色、輿州南部ニハ端午
ニ根ヲ用テ節物トス、又一種三葉ナル者アリ、ミヅホド、州和ト云、一名マメツル、土州
〔古今著聞集十一〕畫圖小野宮のおとつゝゐたち障子に松をか、せんとて、常則をめしければ、他行し
たりけり、さらばとて、公望をめしてか、せられにけり、後に常則をめして見せられければ、かし
ら毛芋に似たり、他に難なしとぞ申ける、

〔新撰字鏡〕草薺。運地反、山薺上
二字止己呂、

〔本草和名八〕草薺。一名赤節、一名白支、一名快筋、一名具肇、已上三名、一名虎膝、一名地脊、出大、一名獨
脊、一名強脂、已上二名、和名於爾止古呂、

〔本草和名十七〕薺、出崔和名止古呂、

〔倭名類聚抄十七〕薺。崔禹錫食經云、薺音解、和名土古呂、俗用笔字、漢語、味苦小甘無毒、燒蒸充糧、兼
名苑注云、黄薺其根黄白而味苦者也、

〔類聚名義抄八〕草解。オホトコロ

〔伊呂波字類抄止〕薺。トコロ

薺。俗用字、或用野
老二字、未詳、

野老。已上同、
俗用之、

〔下學集下〕草薺。謂野老也、皆